

専門医実技評価責任者 各位

2021 年 8 月吉日

公益社団法人日本麻酔科学会教育委員会
委員長 内野 博之

2021 年度 公益社団法人日本麻酔科学会 専門医実技評価にあたってのお願い

謹啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大による様々な影響を受け、2021 年度第 60 回麻酔科専門医認定試験の受験科目の 1 つである実技試験につきましては、去年度に引き続き各受験者の所属する研修プログラム統括責任者の評価を以って合否判断を行うことが承認されました。専門医の資質として必要な評価項目については、実技試験作問者を始め、教育委員会、理事会で検討を重ね、決定しております。

つきましては、責任者の皆様におかれましてもご負担をおかけすることになりますが、学会専門医・日本専門医機構認定の麻酔領域専門医として当該医師を輩出していくにあたり、相応の技術と知識を具しているかを技能評価として、また健全なモラルを身に着けているかを接遇評価として審査ください。審査や提出方法については後述の「2021 年度専門医試験 実技試験方法について（評価者用）」をご参照ください。

専門医の出身プログラムは非常に重要な位置付けとなっております。下記注意事項をご確認のうえ、適切な評価をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

- 1) 評価対象者にご自身の近しい身内、ご家族を安心して任せられるかを念頭に置いて評価してください。
- 2) 評価に不安を覚える際には教育委員会へご相談ください。
- 3) 不適切な評価、評価者のなりすましや偽証など不正な評価が発覚した際には教育委員会にて対応を審議いたしますのでご留意下さい。
- 4) 評価者が客観性をもって評価していただけるように、評価表をもとに審査会で審査し、必要に応じて実技試験を課すことがございます。

5) 評価を実施していただきましたら、「専門医試験口頭実技試験官」の単位が付与されます。複数
名評価いただいても、年度で1単位となります。

以上

2021年度専門医試験 実技試験方法について（評価者用）

<提出期日>

10月1日（金）必着

<提出先>

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目5番2号

神戸キメックセンタービル3階

公益社団法人日本麻酔科学会認定審査委員会 専門医新規申請担当 宛

※差出人名は評価者のお名前でお送りください。

※追跡可能な方法を用いての送付をお願いいたします。

※内容物に関して「実技試験評価表在中」の記載をお願いいたします。

<提出物>

- ・誓約書
- ・評価表

<提出の際の注意>

記載した評価表については、記載内容の修正可能な状態を避けるため、申請者（受験生）に渡さず
に送付していただくようお願いいたします。提出状況は、情報共有のため申請者（受験生）へご一
報いただけましたら幸甚です。

<評価のポイント（総論）>

- ・麻酔科専門医としてふさわしい手技と接遇ができるか評価をお願いいたします。安全に手技が行え
ること、手技の適応が適切に行えること、合併症に対して適切に対応できること、研修医等に適切
に教えることができること、専門医にふさわしい接遇ができることを評価してください。

- 受験生のこれまでの臨床現場での様子から評価をお願いいたします。新たに手技をさせて評価するものではございません。
- 「意識下挿管」「輪状甲状膜穿刺/切開」のみ、評価可能なシミュレータを用いた演習での評価を認めますが、それ以外の手技はこれまでの臨床現場での手技から判断してください。
- 評価者が1人の申請者につき1枚の評価表を作成して、提出いただくものとなります。
- 他施設でのみ実施した手技や途中で新たに他施設から責任者に就任した場合などで自施設での手技の評価ができない場合、実際に受験生がその手技を行った施設の麻酔科長や前プログラム責任者などに可能な限り問い合わせて手技ごとに評価してもらい、最終的に評価者が評価表に記載いただくようお願いいたします。
- 経験したことがあるかどうか、まず受験生に自己申告させて経験ある手技に関しては上記のように可能な限り自施設、他施設含めて問い合わせ評価をお願いいたします。
- 合格基準に関しては、公表すると評価者が合否の責任を担うことになるため公表されません。
- コメント欄については、受験生の実技の手技・接遇に関するコメントがあれば記入ください。

<手技の評価のポイント>

- 日本麻酔科学会の麻酔科専門医としてふさわしい手技ができるかを評価してください。
- 安全な手技が実施できること：ここでの安全な手技とはまず手技自体が安全に行えること、合併症が発生したときにリカバリーするための処置が適切に行えることを指しています。
- 知識：ここでの知識とは、手技を安全に行える知識・適応や禁忌を認識する知識・起こりうる合併症やそれに対する処置に関する知識を指しています。
- 教育：単に手技ができるだけでなく、後輩や研修医に対して適切に指導できるかも評価の対象となります。

<接遇の評価のポイント>

- 患者・家族・医療スタッフに対する接遇について麻酔科専門医としてふさわしいか評価ください。
- 麻酔法を説明できる：普段の術前カンファレンスや手術室での言動や態度、術前診察や術後回診での患者や家族に対する言動や態度から総合的にご判断ください。
- 偶発症を説明できる：実際に偶発症が発生したときに患者や家族、主治医に対する説明の様子や態度から判断するが、そのような場面を見たことがなければ術前診察での患者や家族に対する偶発症のリスクに関する説明や態度などで総合的に判断ください。

誓約書

私（ ）は、麻酔科専門医試験実技試験評価者として
日本麻酔科学会教育委員会が示す注意事項を遵守し、評価基準に則り厳格
かつ公正に評価することを誓約します。

2021年 月 日

会員番号：

所属施設名：

氏名(自署)：

日本麻酔科学会 専門医認定 実技評価表

申請者氏名： _____ 会員番号： _____

評価者名（直筆）： _____ 評価日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

所属施設／役職 _____

評価者は今回の評価に不正、及び相違がないことを誓約する 印 _____

1. 気道管理	評価（該当項目に○を付けてください）					
術前気道評価	5	4	3	2	1	0
迅速導入による気管チューブ挿管	5	4	3	2	1	0
緩徐導入による気管チューブ挿管	5	4	3	2	1	0
声門上器具挿入	5	4	3	2	1	0
経鼻挿管	5	4	3	2	1	0
分離肺換気	5	4	3	2	1	0
気管支ファイバー挿管	5	4	3	2	1	0
意識下挿管（シミュレーション可）	5	4	3	2	1	0
ビデオ喉頭鏡操作	5	4	3	2	1	0
輪状甲状膜穿刺/切開（シミュレーション可）	5	4	3	2	1	0
2. カテーテル挿入（内頸静脈穿刺）						
中心静脈カテーテル	5	4	3	2	1	0
肺動脈カテーテル	5	4	3	2	1	0
3. 硬膜外麻酔						
胸部	5	4	3	2	1	0
腰部	5	4	3	2	1	0
4. 脊髄くも膜下麻酔	5	4	3	2	1	0
5. 神経ブロック						
腕神経叢神経ブロック（アプローチは問わない）	5	4	3	2	1	0
腹横筋膜面ブロック	5	4	3	2	1	0
大腿神経ブロック	5	4	3	2	1	0
6. 筋弛緩モニター	5	4	3	2	1	0
7. 麻酔器の始業点検	5	4	3	2	1	0

*評価（5：安全に実施できる手技と知識があり研修医にうまく指導できるレベル、4：安全に実施できる手技と知識があるが指導力は普通のレベル、3：安全に実施できる手技と知識があるレベル、2：時々安全に手技が行えない、1：手技はできるが安全でないことが多い、0：経験がない）

8. 接遇						
麻酔法を説明できる	4	3	2	1	0	
偶発症を説明できる	4	3	2	1	0	

*評価（4：患者・家族・医療スタッフに適切・冷静・丁寧に説明できる、3：患者・家族・医療スタッフに適切に説明できる、2：患者・家族・医療スタッフに適切に説明できないときがある、1：不十分である、0：できない）

9. コメント _____